

# 第1回札幌500m美術館賞 開催宣言

「わたしたちは、時計台の鐘がなる札幌の市民です」から始まる『札幌市民憲章』は「世界とむすぶ高い文化のまちにしましょう」という文言で結ばれています。この憲章が制定されたのは1963年11月3日。この気高い理念は現在でもいささかも色褪せていません。

しかし同時に今日に至るまで札幌はその都市としての形を大きく変化させてきました。とくに1972年開催の札幌オリンピックを機に地下鉄開通など交通インフラの整備、地下街の建設など、札幌の都市機能の開発が急速に進みました。

産業構造や経済状況も大きく転換する中、札幌市は2006年『創造都市さっぽろ宣言』を公にしました。市民憲章でも「北国の暮らしにあった、衣・食・住のくふうをしよう。生活の中に、音楽や美術などを生かしていこう」と謳われていました。創造都市さっぽろ宣言では「創造性」に媒介された芸術文化と産業経済の両輪による都市の持続可能な成長が目指されています。「創造性」とは例えば「衣・食・住のくふう」のことだと考えてもいいでしょう。わたしたちの日々の創造的な営みが札幌のまちを活気づけ、それがまたわたしたちの生活をよりいっそう豊かにする、そんな好循環を生み出そうというのがこの宣言の決意です。

そして2011年、市民憲章が制定された日と同じ11月3日、札幌の巨大な地下空間の一画に札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」が常設オープンしました。この地下鉄駅コンコース内の公共展示空間は、『憲章』や『宣言』の理念を具現化するとともに、2014年から開催される札幌国際芸術祭の重要な拠点ともなる場所です。500m美術館企画委員会では、市民の皆さんに良質な現代アートを身近に楽しんでいただけるよう、札幌、北海道で活動するアーティストの作品や活動を紹介し、また国内外で活躍するアーティストの招聘などを順次、企画しているところです。

現代アートはその多様な表現ゆえに、多様な反応や意見があることは十分承知しています。しかしいつの時代にあっても、その最も創造的な芸術作品はその時代の「現代アート」だったのです。一枚の絵が共同体の結束を高めたこともあれば、社会に大スキャンダルを巻き起こしたこともあります。強い共感も強い反感も、アートが常に時代の先端に立っているからこそ起こるのです。

500m美術館企画委員会は、多様な表現の中に新たな創造の可能性を発見することを目的に「札幌500m美術館賞」を創設しました。個人またはグループのアーティストによる展示案、キュレーターやギャラリストによる企画案、その他市民参加型のプロジェクト案、地下通路のガラスケースという特徴を活かしたサイトスペシフィックな作品案など、500m美術館にふさわしいものであれば、どなたでもご応募いただけます。グランプリに選ばれた個人、グループ、団体1組には制作費100万円を授与し、2013年2月2日に開催される「第1回札幌500m美術館賞グランプリ展」で作品を発表していただきます。全長84mにも及ぶ類い希な空間は、アーティストの創作意欲をこの上なくかき立てることでしょう。そしてその作品が札幌の活性化に資することを期待しています。

さあ、今、ここに「第1回札幌500m美術館賞」の開催を宣言します。

500m美術館企画委員会委員長 北村清彦

# 第1回 札幌 500m 美術館賞 応募要項

## ■応募期間

2012年7月4日(水)～8月27日(月) 消印有効

## ■展示場所

500m 美術館 ガラスケース(幅 12000mm×高さ 2000mm×奥行 650mm)全7基 全長 84m

## ■賞金

グランプリ1組 100万円

## ■出品料

無料

## ■応募資格

- ・年齢、性別、学歴、国籍、プロ、アマチュア、団体、個人など一切問いません。
- ・応募用紙への記入、面接など、日本語でのコミュニケーションがとれる方を対象とします。
- ・二次面接審査に札幌に来れる方 面接日時予定:2012年10月13日(土)  
(一次書類審査を通過された方で、北海道外の在住者のみ交通費として3万円支給。)
- ・2013年2月2日からの「グランプリ展」に出品できる方。
- ・2013年2月2日に行われる予定の「グランプリ授与式」および「シンポジウム」に出席できる方。
- ・2013年4月19日(金)～20日(土)に作品の搬出・撤去をできる方。

## ■提出書類

- ・規定応募用紙2枚(A4)
- ・作品・企画プランイメージを3枚以内(A4かA3)
- ・過去の作品画像(10作品以内)もしくは、過去に企画した画像(10企画以内)をA4紙10枚以内。  
(グループ展の場合、出品作家全員の作品画像各1～3点をA4紙10枚以内にまとめてください)
- ・映像作品につきましてはDVDを資料添付。DVD表面には作家名と代表者氏名を記載のうえ、作品内容がわかるメインビジュアルの作品画像をA4用紙にまとめてください。
- ・映像作品は1作品5分以内に編集してください。なお展示場所では音をだせません。
- ・規定応募用紙2枚。作品・企画プラン3枚以内。過去の作品、企画画像をA4紙10枚以内。
- ・応募用紙を15枚以内にクリップでまとめて全て封筒に入れて郵送。(ホッチキス不可)
- ・郵送のみ応募を受け付けます。
- ・作品・企画プランイメージは、ガラスケース7基全てのイメージを記述してください。
- ・過去の作品画像、企画画像ともに過去10年以内に限る。各作品のタイトル、制作年、素材、サイズ、コンセプトなどの詳細を記入。各企画のタイトル、コンセプト、展示会場、展示日時、内容、作家、会期など詳細を記入のこと。

## ■ゲスト審査員

**松井みどり** 美術評論家

多くの人々が日常利用し、札幌の冬の生活で重要な機能を持つ地下道のショーケースという場所を利用して、札幌という都市の特殊性を反映しながら慣習的な行動様式に介入し、通行人の新たな感覚や場所との関係性を開くきっかけとなる能動的な展示を期待しています。

## ■審査員

**北村 清彦** 北海道大学大学院 文学研究科芸術学講座 教授

この賞がアーティストにも札幌市民にも喜びと誇りをもたらすものとなるよう育ててゆくための、大事な第一歩となるコンクールです。84m のガラスケースという空間、地下コンコースという環境、札幌という都市、さらにはわたしたちの歴史と文化を見据えた上で未来をも見通す、そんな創造的想像力にあふれる作品を期待します。

**柴田 尚** NPO 法人 S-AIR 代表理事

美術館やギャラリーなど、アートのために用意された空間とは違って、ここはもともと、ただの地下通路。様々な人々が通ります。個人的には、サイトスペシフィック、この場の特性を生かした作品を見てみたいですね。地下通路、12m、7つのガラスケース・・・というパズルの魅力的な解を期待しています。

**端 聡** CAI 現代芸術研究所/(有)クンスト代表取締役 / 美術家

幅 12000mm × 高さ 2000mm × 奥行 650mm のガラスケースが7基。全長は 84m という全国でも珍しい特異な空間です。84m の1点勝負もありです。84m がカオス状態になるのもあります。理路整然としたコンセプチュアル・アートもありです。審査すること自体を無意味に思わせるぐらいの創造に出会いたいですね。

**三橋 純予** 北海道教育大学岩見沢校芸術文化コース教授

他の美術館やギャラリーでは決してまねできない造形性・空間性に挑戦する「エネルギー」を感じたいと思っています。札幌に突如出現した特殊な地下空間に、通りすぎようとする人々でさえ「思わず巻き込まれてしまう」創造性や可能性が満たされた作品群。そんな現代アートの力を証明する企画や作品を楽しみにしています。

**吉崎 元章** 札幌芸術の森美術館 副館長

毎日約 9,000 人が行き交う地下空間に昨年 11 月にできたばかりのこのスペースが、いかにアートの発信地として魅力的なものとなっていけるか。場所のもつ意味や展示空間の特徴などを最大限に活かした、思いもよらない斬新な試みによって、今後の活用についても大いに刺激し、可能性を広げる企画や作品を期待しています。

## ■応募から展示までの流れ

2012年07月04日(水)	応募開始
2012年08月27日(月)	応募締切(消印有効)
2012年09月08日(土)	一次書類審査(後日、一次審査通過者をHP上で発表)
2012年10月13日(土)	二次面接審査(4組程度によるプレゼンテーション。UST中継など公開予定)
2013年01月29日(火)~02月01日(金)	10:00-17:00 展示搬入。
2013年02月02日(土)	展覧会開始、グランプリ授与式、シンポジウム。
2013年04月19日(金)	展覧会終了、搬出撤去
2013年04月20日(土)	搬出撤去

## ■応募に関する注意事項

- ・提出期日を過ぎた場合や提出書類等に不備がある場合、審査の対象となりません。
- ・法令や契約、または公序良俗、公共福祉に反した作品の応募は不可とします。
- ・応募者は、応募作品が第三者のいかなる権利も侵害していないことを保証し、万一第三者からの苦情があった場合には応募者自らの責任で解決してください。
- ・応募作品の著作権は応募者本人に帰属します。ただし、作品を展示すること及び公式ホームページ、各種パンフレット、記録集(映像資料を含む)等に作品写真・映像等を使用することの権利は、500m美術館企画委員会及び主催者にあることとします。
- ・応募用紙の到着および受理の確認、審査結果に関する問い合わせについては、一切お答えできません。
- ・応募用紙などは返却いたしませんので、各自コピーを取るなどしてください。
- ・応募に関する個人情報、500m美術館企画委員会が適切に管理し、第三者には提供しません。ただし、本展の実施運営にかかわる作業に際しては、ご提供いただいた個人情報を利用することがあります。また二次面接審査については、USTにて中継される予定です。なお、グランプリ受賞者の氏名・経歴等は公開させていただきます。
- ・作品プランおよび企画プランですので、実際の作品は受け付けておりません。
- ・グランプリ賞金100万円には制作費、交通費、滞在費、搬入費、搬出費など展覧会全体に関わる全ての経費が含まれます。
- ・グランプリ賞金100万円から10%源泉徴収させていただいた金額を、搬入終了後、お振込いたします。
- ・多数、応募がございました場合、事務局で事前審査を行います。
- ・展示場所が公共空間となりますので、大きな音や異臭のするもの、生き物やなまもの等は展示不可となります。

## ■応募作品の著作権等

- ・提出された資料全てについては、事業の広報等に使用させていただきます。又提出された資料全ては、主催者に帰属し、保存、廃棄の判断は、主催者に委ねるものとし、返却は致しません。
- ・応募作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、500m美術館またWEBでの公開、使用、及び、広報、告知(ホームページ、パンフレット、チラシ)に関する権利は、500m美術館企画委員会にあるものとします。
- ・応募者は、応募作品が第三者のいかなる権利も侵害していないことを保証し、万一苦情があった場合には、自己の責任として解決していただきます。
- ・未成年の応募者は、保護者の自筆署名と捺印が必要になります。自筆署名・捺印がない場合、応募は無効となります。

## ■お貸しできる機材について

プロジェクター2台(無音)、DVDプレイヤー2台、メディアプレイヤー2台、LED スポットライト×84灯

## ■二次面接の交通費について

一次書類審査を通過された方で、北海道外の在住者のみ交通費として3万円支給。

## ■応募用紙郵送先

〒062-0901

北海道札幌市豊平区豊平1条12丁目1-12 ICC 401 NPO 法人 S-AIR

「第1回 札幌 500m 美術館賞」係

## ■応募に関するお問い合わせ

原則、応募に関するお問い合わせはメールにてお願いします。

件名を「第1回 500m 美術館賞 お問い合わせ」として下記宛にお願いします。

休日などの場合、返答が3~4日ほど遅れる場合もございますことをご了承ください。

500m 美術館企画委員会事務局 NPO 法人 S-AIR(エスエア)

info@s-air.org